

## 第61期

## KYORITSU レポート

2018年7月1日→2019年6月30日



## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは「ファクトリー・オートメーション (FA) 技術とIoTの融合分野であるインテリジェントFAシステム」を中心に、開発型ビジネスを通じ、豊かな未来社会への貢献を目指しています。株主・顧客・社員及びその家族、そして関連する全ての会社や人々と将来の夢を共有し、主として製造業における製造現場、試験・研究開発部門を対象にインテリジェントFAシステムにより開発・生産の省力化、能力向上・コストダウンの実現等トータルシステムの効率化に貢献して参りました。

株主の皆様におかれましても、今後共、何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
西 信之

## 当期の概況について

企業収益や雇用の改善が続き、緩やかな回復基調ではあるものの、米中貿易摩擦による影響や中国経済の減速など海外経済の不確実性の中、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループとしましては、コアビジネスであるIT技術とFA技術の融合領域のインテリジェントFA技術において、IoTを始めとしたイノベーションの活性化が続いています。また労働力不足が深刻化する環境下で省力化投資への関心の高まりからロボットに対する需要拡大等、当社グループには引き続き非常に強い追い風が吹きました。

加えて当社グループの有力客先である日系製造業の海外投資は引き続き活発に推移しております。これに対し、従来より整備拡大してきた海外ネットワークを活かして海外で発生する新

規需要を積極的に取り込み、東南アジアを中心とした海外ビジネスも拡大の一途を辿りました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高の金額となりました。

## 次期の見通し

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は前期比2.3%増の349億円を予想しており、営業利益は前期比2.1%増の22億200万円、経常利益は前期比2.1%増の23億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2.1%増の14億200万円と全ての項目において過去最高の金額を予想しております。

## 連結業績ハイライト

企業の旺盛な設備投資意欲を映して、FAシステム各種装置の受注が好調に推移。また水質検査装置や電波暗室などのシステム装置が好調。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高!

売上高

34,125百万円

前期比 3.3%増 

経常利益

2,251百万円

前期比 23.4%増 

親会社株主に帰属する当期純利益

1,390百万円

前期比 36.1%増 

# 【FA業界における「One Stop Shopping」の実現へ 「New Producer」としての付加価値創造企業へ】

## Product① FAシステム・ロボットシステム



生産工程の入口から出口まで最適生産管理システムを目指す工場のトータル管理システム (Factory Automation System)  
工場の製造ライン、生産設備や研究所などでロボットシステムの導入や自動制御装置の開発・設計に欠かせない各種シミュレーションソフトウェア、PLC、制御部品、画像検査システム、安全センサー等を最適ソリューションとともに提供します。



## Product② 3次元可視化掘進管理システム (もぐう3D Eye)

従来の当社販売の土木シールド推進工法掘進管理システム内にストックされる施工時データをもとに、パソコン上での3次元図画機能を追加し、より高度な施工情報の見える化を実現。これまで現在位置や進行方向のズレなどを平面のグラフと数字だけで表示していたが、より見やすく直感的に状況を把握できるシステムを開発。



## Product③ ユニレリーフ

### ユニレリーフ (UNI RELIEF)

魚をセンサとした水質連続監視装置 (魚が危険を知らせます)



### ユニレリーフ2槽式

警報の信頼性向上と省スペース、省コストを実現



### EQウォーター

用水・排水 (放流水) の連続監視に最適。  
オプション: カメラで遠隔監視可能、PC接続で長期データトレンド&異常時メール送信



## Product④ KDLinX (ケーディーリンクス)

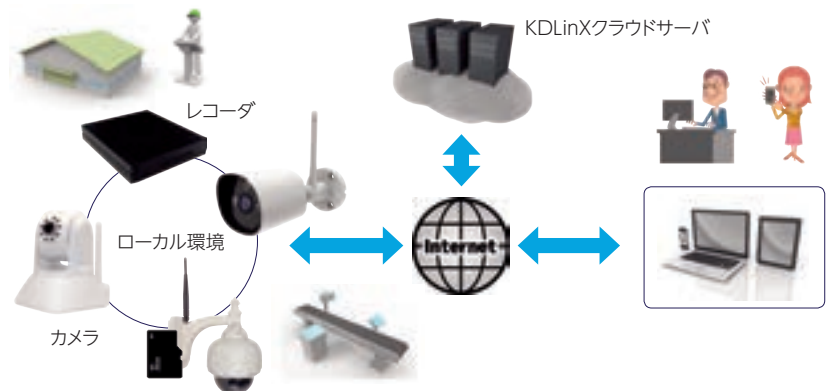
2014年の発売から5年目を迎え、クラウドシステムにおけるKDLinXの認知度が年々高まっている中、カメラは価格や性能の異なる5種類で、自動ネット接続や赤外線撮影などの機能を備える。また、130万画素のクラウドカメラ+レコーダで販売。

新製品として以下の2シリーズを発売

- ①400万画素の高画質モデル (ユーザからの高画質化への要求へ対応したモデル)
- ②低価格モデル (カメラの導入コストのみで月額利用料金がかからない手軽なモデル)

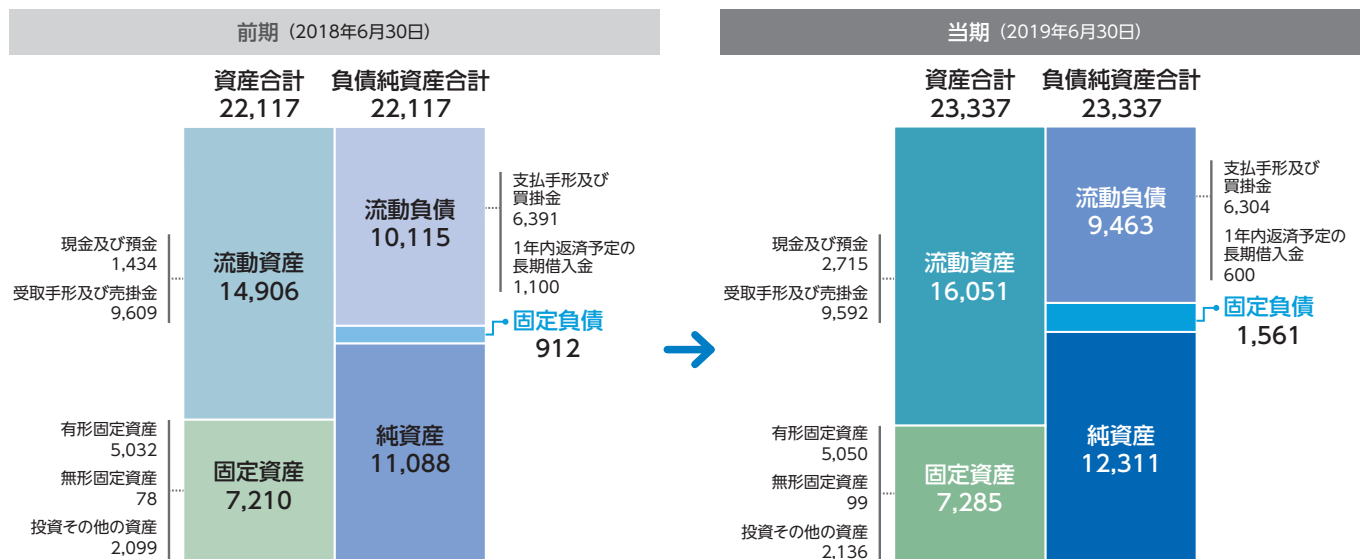


### クラウド型ネットワークカメラ

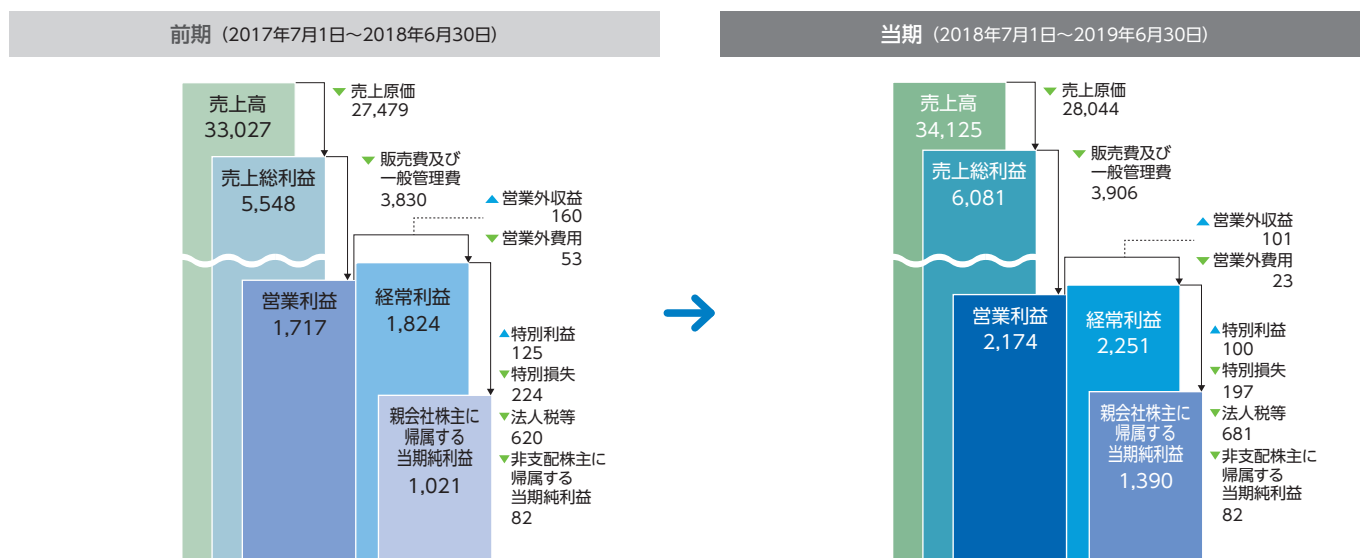


# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (単位：百万円)



## 連結損益計算書 (単位：百万円)



## 連結包括利益計算書 (単位：百万円)

科目	前期 2017年7月1日～ 2018年6月30日	当期 2018年7月1日～ 2019年6月30日
当期純利益	1,104	1,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△40
その他の包括利益合計	△36	△40
包括利益	1,068	1,433
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	994	1,340
非支配株主に係る包括利益	73	92

### Point ①

当連結会計年度末の資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ12億200百万円増加し、233億37百万円となりました。これは主として現金及び預金が12億80百万円増加したこと等によるものであります。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、110億25百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が1億68百万円増加した一方、流動負債のその他が1億18百万円、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が62百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ12億23百万円増加し、123億11百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する当期純利益等により利益剰余金が11億89百万円増加したこと等によるものであります。

### Point ②

#### セグメント別概況

インテリジェントFAシステム事業では、IoTを活用した設備投資の増大により各種検査装置が好調だったこと、労働力不足を起因とする省力化投資が活発だったこと、3年前から開始した水質検査ビジネスが引き続き急速に拡大していること等から市場は拡大しております。材料調達が遅延する局面も見受けられましたが、当社グループの施策である「One Stop Shopping」による効果も顕著になりつつあり、売上高は109億10百万円(前期比10.3%の増)、営業利益は10億40百万円(同31.7%の増)と増収・増益になりました。

IT制御・科学測定事業のうちIT制御は主として、製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受けやすい傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景況の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当連結会計年度においては研究開発投資に後押しされた科学分析機器、輸送機業界の生産好調に牽引されコンポーネント機器及びメカトロニクスビジネス等が特に好調に推移しました。これらの結果、売上高は231億71百万円(前期比11.3%の増)、営業利益は14億68百万円(同14.6%の増)と増収・増益になりました。

## 会社概要

社名	協立電機株式会社
設立	1959年2月
資本金	14億4,144万円
本社所在地	静岡県静岡市駿河区中田本町61番1号
社員数	641名(連結) 373名(単体)

## 株式の状況

発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	4,369,200株
1単元の株式の数	100株
株主数	1,483名

## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-7111(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL <a href="http://www.kdwan.co.jp/">http://www.kdwan.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載して行いま す。)

## 営業拠点

本社	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町61-1 TEL<054>288-8888 FAX<054>285-1105
R&D センター	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町61-2 TEL<054>288-8890 FAX<054>285-1106
テクニカル センター	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町63-25 TEL<054>288-8855 FAX<054>285-1105
東京支社	〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6 5F TEL<03>5976-5500 FAX<03>5976-5522
富士支店	〒417-0047 静岡県富士市青島町270番地 TEL<0545>55-5500 FAX<0545>55-5515
浜松支店	〒435-0007 静岡県浜松市東区流通元町13-7 TEL<053>421-3500 FAX<053>421-3320
関西支店	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-4-27-501 TEL<06>4861-1501 FAX<06>4861-1502

## 役員

代表取締役社長	西 信之
常務取締役	瀬本 保範
常務取締役	大石 勝久
取締役	望月 国雄
取締役	藤嶋 善彦
取締役	鈴木 雅
常勤監査役	田尻 博比古
常勤監査役	木村 精次
監査役	伊藤 喜代次
監査役	西 光世

## WEBサイトのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。



協立電機

検索



<http://www.kdwan.co.jp/>

- ・仙台営業所・宇都宮営業所・つくば営業所
- ・神奈川中央営業所・御殿場営業所・沼津営業所
- ・静岡営業所・島田営業所・袋井事業所
- ・豊橋営業所・三河営業所・名古屋営業所
- ・高岡事業所・神戸営業所・福岡営業所
- ・熊本営業所・鹿児島営業所
- ・本社工場
- ・富士サービスセンター・富士サポートセンター
- ・相模原事業所
- ・名古屋テクニカルセンター